

# 会 議 記 録

作成部局課名 丸子地域自治センター 地域振興課

開催日	平成 23年 12月 15日(木曜日)	開催時刻	13時 30分から 14時 30分
会議名	丸子地域協議会(平成 23年度第 9回)		
出席委員	齊藤会長、北村副会長、生田委員、内田委員、倉沢委員、上坂委員、笹井委員、佐藤委員、清水委員、関委員、滝澤委員、中澤委員、成澤委員、松山委員、丸山委員、宮下委員、村松委員【欠席】池内委員、山越委員、横山委員		
市側出席者	宮澤センター次長兼地域振興課長、下村地域振興政策幹、松井健康福祉課長、矢島産業観光課長、小相沢建設課長、小林消防課長、高野丸子学校給食センター長、宮澤市民生活課長補佐、滝沢上下水道課長補佐、大平地域政策担当係長、翠川地域政策担当主査、馬場		

## 会議次第

### 1 開会（宮澤センター次長）

- ・配布資料の確認、欠席委員の報告

### 2 あいさつ（齊藤会長）

今年も残すところあと半月になりました。委員の皆さんには、大変お忙しい中御出席いただき誠にありがとうございます。本年は、千年に 1 度の大災害、また福島原発事故と非常に大変な一年でした。来年こそはいい年になってほしいと願っているところです。

本日は、報告事項 2 件とその他事項ということで審議をお願いしています。その後に専門部会や研究会等も予定されています。専門部会や研究会にも十分な時間が取れるよう、スムーズに進行していきたいと思っておりますので御協力をお願いします。

### 3 報告

#### (1) 平成 24年度わがまち魅力アップ応援事業募集要項について（事務局）

- ・平成 24年度募集要項について資料説明。募集期間は年明け 1月 16日から 2月 10日まで。
- ・丸子地域では、20 年度 16 件、21 年度 18 件、22 年度 12 件、23 年度 9 件の事業が採択。
- ・公募内容に大きな変更は無い。備品購入費の補助額について若干の変更あり。

資料：「わがまち魅力アップ応援事業」平成 24年度事業 募集要項（案）

#### 主な質疑・意見の内容

（委員）変更点である備品購入費の「補助額は原則として備品購入費総額の 1/5 を上限とする。」の表現がわかりにくい。詳細な説明をお願いしたい。

（事務局）資料 6 ページを御覧いただきたい。この事業は平成 20 年度から始まったわけだが、事業を進めながら毎年見直しを行っている。21 年度事業の備品購入費は、上限を事業費全体の 1/5 から備品そのものの額の 1/5 に変更した。その後、23 年度事業の備品購入費については、審査で認められた場合は 1/5 でなく全額を補助対象とした。そして今回の改正、24 年度については、「原則として」ということで、備品購入費総額の 1/5 を補助対象額とした。備品購入費の上限があるわけではないが、補助金によって物品設備の財産等を持たせることを目

的とした事業ではなく、あくまで地域の魅力アップにつながるきっかけにしてほしいというのがこの事業の趣旨である。どうしても必要な場合には、レンタルやリース等で対応していただければと考えている。

(委員) 上限を全く設けていないということか。

(事務局) そのとおりです。

(会長) 委員の皆さんには、各方面へ積極的にこの事業を勧めていただき、相談があった場合も積極的に御指導願いたい。また、不明な点は事務局へ気軽に足を運んでいただくようお願い願いたい。

#### (2) 専門部会における検討状況について (各部長より部会での協議内容を報告)

##### 【魅力アップ応援事業専門部会】

魅力アップ応援事業の募集案内の通知内容等について

- ・ 募集案内の通知を積極的に活動団体へ送付する。

募集案内の通知先等について

- ・ 学校名表示のある団体へは通知しない。
- ・ 重複団体の確認は事務局が行う。

アンケート調査の内容について

- ・ アンケートは既に発送済み。回答は、16日までに郵送でいただく。

交流会の開催等について

- ・ 開催時期は、2月を目途に検討している。
- ・ 回収したアンケート結果を参考に、交流会の内容などを検討していく。

##### 【公共交通専門部会】

- ・ 前回の全体会終了後、「まりんこ号」乗車による現地視察を行った。
- ・ 現地視察後の部会では、高齢者クラブ宮下会長より話を聞き、討議を進めた。
- ・ 今後は、現状のまりんこ号を改善し、利便性を高める方向で議論を深めていく。
- ・ 本日の全体会終了後の部会では、高齢者クラブ3名を交え、建設課と相談しながらある程度テーマを決めて討議する。

#### 4 その他

##### (1) 研究会における検討状況について (各会長より研究会での協議内容を報告)

##### 【地域の産婦人科医療を考える研究会】

- ・ 12月の研究会開催はなし。1月は講師を招き、勉強会を行う予定。

##### 【荒廃農地解消研究会】

- ・ 本日の専門部会終了後に研究会を開催する。

##### 【緊急時連絡カード・マップ研究会】

- ・ 11月26日、委員宅にて初会合を行った。
- ・ 現在、市では「住民支え合いマップ」、社会福祉協議会では「防災福祉マップ」の整備が進行しているが、これらは行政主導、限られた住民が対象であり、情報は保護管理されているという面が強い。

- ・自治会等を中心に、希望する全戸全住民を対象に情報共有できないか。
- ・既にスタートしている他の県や市区町村、自治会等を参考に、勉強していく。
- ・本日の専門部会終了後の研究会では、地域振興課から緊急時連絡体制整備の意志や問題点、健康福祉課から住民支え合いマップの目的や進め方の話を聞き、今後の方向付けを行う。

(2) 次回以降の会議日程について (資料の開催予定日のとおり決定)

- ・第 10回丸子地域協議会 平成 24年 1月 26日(木曜日)午後 1時 30分
  - ・第 11回丸子地域協議会 平成 24年 2月 23日(木曜日)午後 1時 30分
- 丸子地域自治センター4階 講堂

(3) その他

主な質疑等の内容

(委員) 現在、上田市議会が開催中だが、12月7日の一般質問で久保田由夫議員から「地域内分権をどう考えるか」「持ち寄り基金の使い方」についての質問がされ、財政部長と政策企画局長からそれぞれ答弁があった。十分に納得できる答弁内容ではなかったが、従来の上田市の財政や企画の取り組みからすると一歩踏み込んだ、前進したものだと感じた。自治センターと地域協議会が一体となり、地域内分権に取り組み、推進していくという観点からすると、従来よりも良い取り組みが可能になるというような答弁であったと思う。是非正確な質問内容と答弁内容を協議会にお聞かせいただきたい。要望ということで、次回お願いしたい。

(地域振興課長) 前回会議の中で、地域振興事業基金活用事業の報告をさせていただいたが、追加で考えている事項があるのでお伝えしたい。丸子地域では緊急地震速報システムが構築されており、平成17年から有線加入世帯、小中学校等、丸子テレビ一部機械を設置している家庭に、地震速報を配信するシステムを丸子地域独自のシステムとして導入している。内容としては、地震が到達する前に地震が来ることを警報音や放送で知らせするシステムで、地震が来る前に対応できるということにおいて非常に有効である。気象庁が地震情報を発信、それを自治センター独自のシステムで地域内世帯等へ届けているのだが、今回、若干気象庁と整合性をとる必要が出てきたため、システムを一部改修しなければならないということになった。予算が150万円ほどかかるので、場合によっては持ち寄り基金を入れてやりたいと考えている。もう一点、初めての試みである議会との懇談会について。丸子地域と武石地域の議員の皆さんから丸子・武石の地域協議会と懇談したいとの申し入れがあり、懇談会を1月18日(水)の午後、場所は自治センター4階講堂で予定した。出席は丸子・武石の市議会議員さん、丸子・武石地域の協議会委員さん、丸子・武石自治センター担当課長となる。具体的な内容は決めていないが、地域課題全般に意見交換できればと考えている。急なお願いで申し訳ないが、都合つく範囲で御出席いただきたい。

(市民生活課長補佐) 前回会議で御意見をいただいた落ち葉の野外焼却について、県の環境廃棄物対策課から放射性物質に汚染された恐れがある落ち葉の野外焼却の自粛要請があった。落ち葉の焚き火は例外として認められてはいるが、落ち葉が放射性セシウムに汚染された場合、焚き火等により放射性セシウムの大気中への拡散や灰への濃縮が懸念されるものである。放射性物質による生活環境への影響を未然に防止する観点から放射性セシウムに汚染

された恐れのある落ち葉については、焚き火等の焼却を極力行わないよう安全性を考えて自粛を求めている。上田市、丸子地域においても県と同様に自粛を求めている。どんど焼きや土手焼きについては通常通り行ってもいいということ。これについては、あくまで県の要請によるものであるということで、市も一緒をお願いをしていくところである。処分方法は、青い指定の可燃ごみの袋に入れていただき、燃えるごみとして出していただきたい。また、落ち葉の堆肥化の関係についても県の農政部からの指導により、今年に限り自粛をお願いするということになる。

(委員) 放射性セシウムに汚染された落ち葉かどうかはどうやって調べればいいのか。

(市民生活課長補佐) 汚染されたものということではなく、汚染されるおそれがある落ち葉ということで御理解いただきたい。

(委員) 今年の夏頃に行った各家庭の井戸水に関する調査の結果はどうなったのか。発表はしないのか。水質の問題もあると思うが使うのか使わないのか等、行政の考えを聞きたい。

(センター次長) 詳細情報が把握できていないので、すぐに回答はできない状態です。

(委員) この調査は、自治会へ回覧のような形で来たもので、井戸の有無や災害時に井戸を提供する意思はあるか等のアンケート調査のようなものだった。

(センター次長) 内容を確認し次回の協議会で報告したい。

(委員) 市議団との懇談会はどのような形式で行うのか。全くの個人の課題、思っていることを互いに言い合うのか。

(会長) 私としては、協議会での協議内容、検討内容の説明をしたいと考えている。私が要望したのは、地域の問題点や活性化のなものについて意見交換したいということ。私と次長が詰めた段階では、具体的に絞ってという形にはならないだろう。第1回ということで、まとめていく話にもならないだろうと思っている。

(センター次長) テーマとすれば地域課題。かなり広い範囲の話になるかと思う。協議会で担当している課題が地域課題であり、それらを整理しながらテーマとしてお話いただいたらどうかと思っている。結論を出せばいいということではないので、委員さん議員さんそれぞれの思いを互いに話し合っただけであればいいと大まかには考えている。今回は、このテーマという話までは議員さんとの話の中でも詰めきれないだろうと思っている。

(会長) 個人的な意見や議員さんに対しての質問も構わないと思うが、基本的には、議員対委員で意見交換をするイメージで1回目は捉えたいと思う。

(委員) 1回目で地域課題を絞り込んでまとめるまでにはいかないと思うが、少なくとも丸子・武石それぞれの協議会では、今こんなことが課題として検討されている、市議団としては、議会の中に地域の課題としてこんなことをどう大事にしなければいけないということで話し合っている、提案する、といったことを議会にアピールするものを出していただければと思う。

(委員) 先ほどの「議会の質問とそれに対する回答を」という話に関連して、地域内分権を自治センターと地域協議会で進めるという位置づけになっているが、最初に配られた地域協議会資料の中に、「地域協議会でまとめられた意見等については、必要に応じ…」ということになっている。地域協議会からの意見に対しては自治センター自体がいつでも賛成の立場で見ないと、地域協議会で意見書を出しても、市が必要でないと認めれば実行されない。市のやりたいことが住民の意向と一致しているという裏づけを取るという意味で、地域協議会の

意見などは大変大事に扱われるべきだと思う。議会の回答に併せ、自治センターのあり方の回答もいただきたい。

(会長) 言わんとすることは、地域協議会の中で決定したことを自治センターで後押ししようということだと思うが。

(委員) 位置づけが地域協議会の上に市の自治センターがあり、私の意見を自治センターがダメだと言うなら地域内分権にならない。過去色々な事例で質問してきたが、同じ会場にいるわけで、違う意見やこれはとても無理だなと思うことを見送ることなく、その場所で議論を戦わせたい。

(委員) 先にお願ひした一般質問の答弁書を見れば分かると思うが、財政部長と企画局長から地域の問題について、自治センターごと、センターの担当課長や地域協議会の発案で、積極的にまず問題提起をしてほしいという趣旨のことを言われている。上田市の来年から行われる後期基本計画の計画書の中には、市のスローガンが書かれている。それを見ると、地域内分権といっても自治センターと地域協議会だけで決められて、それが市民参加につながるルールというものが全くない。地域内分権を具体的に行政の中で進められる手立ては、今のところはっきりしていないと思う。自治基本条例では、地域内分権は非常に重要な位置づけになっており、将来的には、変わっていかなければ本当の地域内分権はできないと思う。基本条例の中でも、地域内分権は自治センターと地域協議会の一番のポイントになっている。両者が一体となり、地域内の課題に取り組まなければいけないと思う。先ほどお願ひした答弁書の件だが、本来は、情報として共有すべきことであり、積極的に自治センターから情報提供があってもいいのではないかと思う。是非、正確な質問内容と答弁内容をお出しいただきたい。

(委員) 議員懇談会は、公開で行うのか。事前に有線等使い、開催を知らせるのか。

(センター次長) 協議会の延長線上にあるものではない。積極的に情報公開することはないが、基本的には、傍聴を拒むことはないと考えている。

(委員) 先日、消費生活展で主催者側の方から、旧丸子町時代はこういう時には町歌を歌っていた、小学校でも校歌の一部歌詞を訂正して歌っているところもある、ということを知った。例えば、町歌もメロディーや歌詞をある程度使いながら、現在の上田市の中の丸子として使うこと、変えることはできないかという質問をいただいた。他にも地域の皆さんから声を掛けられた方はいるか。そのことは、今後考えられることが。

(センター次長) センターで答えられる部分ではないと思うが、皆さんのそういう声を協議会や自治会の中から拾われてくれればと思う。皆さんが集まりを作ってやっていく内容かなと思う。

(委員) センターへはそういった内容の話はきていないか。

(センター次長) はい。

5 閉会 14:30 地域協議会終了後、部会等開催(第2、3、4会議室)